

日銀所長の あさひかわ

14

クロスカントリースキーと
歩くスキーの国際的な大会
「第三十回バーサーロペッ
ト・ジャパン」が先月、旭川
市富沢で開催され、無事終了
しました。まずは、主催者・
関係団体をはじめ多くの市民
ボランティアの皆様の長年に
わたるご努力に敬意を表した
と思います。

ピーク時と比べると減少し
たとはいえ、三千人近い参加
があったそうです。スウェー
デン大使、ラトビア大使をは
じめ海外からも多くの方が参
加しました。私は、昨年に引

バーサーロペット大会と国際化について

引き続きボランティアをさせて
いただき、今年はスウェーデン
大使ご夫妻ほか同行者一行
のアテンドをすることになり
ました。大使ご一行は、毎年
この大会に参加することを葉
しみにされ、今年も旭川を満
喫されました。

また、スウェーデン本国か
らも毎年ベテラン競技選手が
参加しています。何と、一九
九〇年の第十回大会には、本
国からカール十六世グスタフ
国王がご来旭されています。
その時、国王は警備の目をく
ぐって、夜な夜な市内のディ
スコに繰り出されたとのこと
と。国王は「ローマの休日」
ならぬ、ひと時の「旭川にお
ける休日」を大そう楽しまれ
たと語り継がれています。き
っと当時の関係者は冷や汗も
のだったことでしょう。

お手伝いをさせていただ
いた過程で、他にもいろいろと

学ぶことができました。十六
世紀初頭、今のスウェーデン
はデンマークの領土だったと
のことでした。時の若き貴族
グスタフ・パーサーは独立を
目指し、ダラーナ地方のモー
ラ村(ストックホルムから北
西約三百キロ)に行き、村人に協
力を求めたもののデンマーク
兵に追われ、今のノルウェー
国境近くのセーレンまで、一
本ストックのスキーで八十七
キロもの雪原を逃れたそうで
す。その後、ダラーナ地方の
人々の協力を得て、スウェー
デンは独立を勝ちとるのです
が、こうしたパーサー王の偉
業を記念して、スウェーデン
では一九二三年からクロスカ
ントリースキー大会である
「バーサーロペットを開催し
ているとのことでした。

わが国では、旭川を中心と
した関係者の熱意が実り、こ
のスウェーデンにおける大会

にちなんで一九八一年に「第
一回旭川国際バーサー大会」
が開かれ、その後たびたび名
称や内容を拡充して今日に至
っています。また、米国ミネ
ソタ州にもスウェーデンから
の移民が多いモーラ市があ
り、バーサー大会を通じた交
流が行われているようです。

さらに、選手たちの保温と
疲労回復のために、スウェー
デン本国の大会ではブルーベ
リー・スーパ(とは言っても
ジャムを湯で溶かしたような
もの)がふるまわれていると
のことです。富沢の競技会場に
はスウェーデン大使館からの
差し入れとして、このスーパ
がふるまわれています。

さて、これから人口減少が
尾家啓之(おいえひろゆき) 一九五八年(昭和三十三年)東京都生
まれ。八一年同五十六年日本銀行に入行。米国ワシントンでの勤
務や、橋本内閣の行政改革会議事務局への出向、総務人事企画役な
どを経て、〇七年平成十九年から旭川事務所長。趣味は喜劇全般、
ミュージカル鑑賞、社交ダンス。

予想される地域経済の更なる
発展を考えていく時、バーサ
ーロペット大会のみならず国
際的なつながりを強化してい
くことは極めて有益と考えら
れます。その過程で、とても
大切なことは、「異国に対する
興味や関心、知的好奇心」そ
れぞれ異なる文化の下で培っ
た考え方や行動をお互い理解
し、尊重する心、「一旦は相
手(国)の立場から物事を考え
てみる心」、(なま)ではないで
しょうか。突き詰めて言えば、
日本人とか外国人といった分
け隔てなく、よいコミュニケ
ーションを図っていくことが
国際化の目標だと思います。

(日本銀行旭川事務所長
※毎月第一週に掲載します